

日本植物病理学会 第12回バイオコントロール研究会のお知らせ

日本植物病理学会第12回バイオコントロール研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催期日：平成23年3月30日（水）

会場：府中グリーンプラザ 2階けやきホール
（東京都府中市府中中町1-1-1 TEL：042-362-3311）

統一テーマ：生物農薬が直面している問題点と今後の展開

主催・共催：バイオコントロール研究会

参加費（講演要旨集合）：4,000円（講演要旨のみ、2,000円）当日受付にて徴収、事前申し込み不要。

プログラム

9:00- 9:05 開会の挨拶

基調講演

9:05- 9:35 生物農薬が直面している問題点と今後の展開
対馬 誠也氏（農業環境技術研究所）

第一部 生物農薬の現状と今後の展開

- 9:35-10:05 IPM から見た生物農薬
黒谷 博史（農林水産省 消費・安全局 植物防疫課）
- 10:05-10:35 新農薬実用化試験から見た生物農薬
田代 定良（日本植物防疫協会 研究所）
- 10:35-10:50 <休憩>
- 10:50-11:20 水稲消毒用生物農薬の現状と今後の方針
大場 淳司（宮城県古川農業試験場）
- 11:20-11:50 微生物殺菌剤の現状と問題点
安井 強（日本微生物防除剤協議会）
- 11:50-13:00 <休憩>

第二部 新しい生物農薬の展開

- 13:00-13:30 菌核病防除生物農薬：ミニタン WG (*Coniothyrium minitans* 製剤)
杉本 光二・小川 宗和・林 博之・三谷 滋（石原産業株式会社）
- 13:30-14:00 新しい生物農薬の施用技術“ライブコート”
秋津 教雄（多木化学株式会社）

第三部 研究の最前線

- 14:00-14:30 英国における病原菌をもちいた外来生物イタドリの生物防除
黒瀬大介（農業環境技術研究所 JSPS ポスドク研究員）
- 14:30-15:00 マイコウイルスを用いた防除資材の開発
森山裕充（東京農工大）

15:00-15:30 病原菌を剥離させるアプローチによるイネいもち病生物防除法の開発

池田 健一（神戸大学）

15:30 閉会の挨拶

問い合わせ先：第12回バイオコントロール研究会開催事務局

〒183-8509 東京都府中市幸町3-3-6

東京農工大学 農学部 応用生物科学科 生物制御学講座 植物病理学研究室
有江 力

TEL：042-367-5691

E-mail: arie@cc.tuat.ac.jp